

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習 I		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>心理学を中心に心と脳の働きに関する基本的な理論や知識を学び、専門的知識を活かして、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解するために必要な知識や技術を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>課題学習を通じてキャリア心理学に関する調査・分析を行い、それに対するフィードバックで理解を深める。また、同時双方向型授業では調査・分析した結果を発表するための準備を行ったうえで、面接授業で発表を実施し意見交換を通じて理解を深める。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、メールと同時双方向授業中、面接授業中に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学等に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HSU(1)、心(1)、(2)	
②	心理学等の専門的知識を活かし、人間社会の現象を理解することができる。			心(1)、(2)	
③	多様な関係性について理解し、実際の場面で活かすための技術を身につける。			心(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：演習授業の概説を行い、自己分析について学ぶ。 フィードバック：回答に対するコメントを返却。	印刷教材等での授業	資料を読み込み、演習に関する設問に回答する。	4	
2	キャリア心理学(1) 自己知覚(文章完成法)について学ぶ フィードバック：同時双方向授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	資料を基に自己知覚(文章完成法)について学び、レポートを作成する。	5	
3	キャリア心理学(2) 自己分析を行う。 フィードバック：同時双方向授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	資料に基づき自己分析を行い、レポートを作成する。	5	
4	キャリア心理学(3) 身近な人物と仕事、アルバイト体験を振り返りキャリア形成について学ぶ。 フィードバック：同時双方向授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	資料を基に身近な人物の仕事に関する調査と、アルバイト体験に関するワークを行う。	5	
5	キャリア心理学(4) キャリア形成の視点から自己分析を行う。 フィードバック：同時双方向授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	資料に基づきキャリア形成の観点から自己分析を行い、レポートを作成する。	5	
6	キャリア心理学(5) キャリア形成の場としての企業や企業活動について調査を行う。 フィードバック：同時双方向授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	資料に基づき企業や企業活動に関する調査を行い、レポートを作成する。	5	
7	キャリア心理学(6) キャリア形成の場としての業種や職種について調査を行う。 フィードバック：同時双方向授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	資料に基づき業種や職種に関する調査を行い、レポートを作成する。	5	
8	キャリア心理学(7) 自己分析の結果と企業・職種に関する調査に基づき、キャリアについての意見発表のストーリーを組み立てる。	同時双方向型授業	調査結果を取りまとめる。 ストーリーに基づきスライドを作成する。	4	
9	キャリア心理学(8) 作成したスライドの推敲と発表のリハーサルを行い、討論する。	同時双方向型授業	発表準備を行う。 討論内容に基づき発表内容の改善を行う。	4	
10	キャリア心理学(9) 改善した発表のリハーサルと、想定質問の検討を行う。	同時双方向型授業	発表準備を行う。	6	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

11	キャリア心理学（10）：調査結果を発表し、討論を行う。	面接授業（演習）	発表の準備を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	4
12	キャリア心理学（11）：調査結果を発表し、討論を行う。	面接授業（演習）	発表の準備を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	4
13	人間社会の理解（1）；人間社会を理解するために関心のある産業と自分とのかかわりについて調査する。	同時双方型授業	各自の調査のテーマについて調べる。調査内容をスライドにまとめる。	4
14	人間社会の理解（2）；関心のある産業と自分とのかかわりについて調査結果を発表できるようにまとめる。	同時双方型授業	発表のリハーサルや推敲を行う。発表の準備を行う。	6
15	人間社会の理解（3）：調査結果を発表し、討論を行う。	面接授業（演習）	発表の準備を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	8
試	評価のポイント参照			

達成度評価

総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	50	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	40	0	0	50
	コミュニケーション力	0	10	0	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	授業の際に課されたレポート・ワーク等は、出題意図に即した内容が記述できているか、テーマに応じた思考・考察ができているか、読者に伝わる表現法が選ばれているかという観点で評価する。	同時双方向授業において総合講評を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	心理学の中からキャリア心理学に関する基本的な理論や知識を理解できているか、また発表の内容、技術などについて評価する。	発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	討議の取り組みや授業へ意欲的に参加しているか、発表において他学生とのコミュニケーション力を発揮できているかについて評価する。	発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

備 考

学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。

担当教員：◎瀧口 綾、鈴木 真吾、高田 毅、柁木 隆寿

Teams をつけた同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の **Wi-Fi** 環境を奨励します。
なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。